



石原富子議員  
(開白会)

**問** 学童保育の指定管理に期待する

学童保育は放課後を安心して託せる場だが、現在は臨時職員のみで子どもとかわっている。責任の所在、危機管理、支援員の働き方など多くの課題がある。指定管理に移行することで何が変わるのか。また多額の税金の投入になるが保護者の負担は増えるのか。

**答** 常勤職員を配置し保育の質を高める

各学童保育所に常勤職員を配置し、市職員と緊密な連携を通し、責任所在、危機管理や支援員の処遇などの課題に取り組み、質の高いサービス提供を図る。学童保育料は値上げをせず、民間企業のノウハウを生かしたサービス向上を図る。

**問** 公契約条例を制定すべきではないか

公契約は往々にして安ければよいという風潮があるが、その陰で多くの下請け、孫請け業者の賃金がダンピングされ「官製ワーキングプア」まで招いている。越谷市をならい、条例を制定し、市内の業者が安心して仕事ができる環境づくりをすべきではないか。

**答** 国、県、近隣市町村の動向を注視

公契約条例の制定については、国、地方自治体、関係業界、労働団体などが一体となって取り組んでいくものと考えている。今後の国における法の整備、また、埼玉県ならびに近隣市町の動向を注視しながら、市としても調査・研究を進めたいと考えている。



遠藤 誠 議員  
(無所属)

**問** 監査対象を補助金で購入した物品までに

補助金を受けた団体の経理、補助金で購入した物品の管理や使用状況についても、監査の範囲を拡大すべきではないか。市以外の補助も受けられる団体にしていくべきである。こうした実績を監査報告にも掲載すべきではないか。

**答** 可能な範囲から実施していく

補助金などの交付に関する監査については、26年度の定例監査において、補助金の交付元となる市を対象に実施したところである。補助金などを交付している団体に対する監査については、監査項目や実施方法などを検討し、可能な範囲から実施していく。

**問** 文化について市民ニーズをよく考えて

市内カルチャースクールや近隣のカルチャースクールのプログラムの多様さと、市の提供できるプログラムは大分ちがう。役割分担してもよいが目配りが必要ではないか。

**答** まちづくりにつながる生涯学習を推進

市の歴史や伝統・文化、芸術を中心に、市民のニーズにあった講座を提供することで、学びのきっかけや仲間づくりを支援する。さらに、学んだ成果を他者に還元してもらい、学びの循環を地域に作り出すことにより、将来のまちづくりにつなげていきたい。

